



USB AUDIO INTERFACE

AUDIOGRAM 6

Owner's Manual
Bedienungsanleitung
Mode d'emploi
Manual de instrucciones
Руководство пользователя
取扱説明書



English

Deutsch

Français

Español

Русский

日本語

EN
DE
FR
ES
RU
JA

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 **警告**

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

 **注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

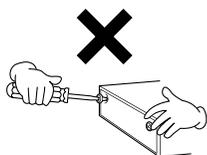
警告

分解禁止



禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。



水に注意



禁止

この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。
内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに USB ケーブルをこの機器から抜き、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

濡れた手で USB ケーブルを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

⚠ 注意

設置



必ず実行

この機器を移動するときは、必ず USB ケーブルなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



禁止

ボリュームコントロールをすべて最大には設定しない。接続した機器によっては、発振したりスピーカーを破損したりする原因になることがあります。



禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しない。

この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

不安定な場所に置かない。

この機器が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。

この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量（ボリューム）を最小にする。感電、聴力障害または機器の損傷になることがあります。

使用時の注意



必ず実行

スピーカーの故障を防ぐために、電源を入れるときは、最後にモニタースピーカーの電源を入れる。また、電源を切るときは、最初にモニタースピーカーの電源を切る。



禁止

この機器のパネルのすき間に手や指を入れない。お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

この機器のパネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに USB ケーブルをこの機器から抜き、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォン / スピーカーを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



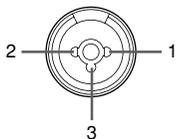
禁止

この機器の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

この機器が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

MIC/INST 端子 (XLR タイプ) のピン配列は、以下のとおりです。(IEC60268 規格に基づいています)

1: グラウンド (GND)、2: ホット (+)、3: コールド (-)



- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、コンピューターの電源を切る、または USB ケーブルをコンピューターから抜き、必ず電源を切りましょう。

スイッチ、ボリュームコントロール、接続端子などの消耗部品は、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要になります。消耗部品の交換は、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

* この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

- ・ヘッドフォンをご使用になる場合は、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。
- ・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■ ご注意

- ・ 取扱説明書の著作権はすべてヤマハ(株)が所有します。
- ・ 付属のソフトウェアの著作権は、Steinberg Media Technologies GmbH社が所有します。
- ・ このソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ このソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ このソフトウェアが入っているディスクは、オーディオ/映像用ではありません。コンピューター以外の機器では絶対に使用しないでください。
- ・ アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別途ご案内させていただきます。

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、音楽データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

- ・ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ MacまたはMacintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびは、コンピューターレコーディングシステムAUDIOGRAM 6をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。AUDIOGRAM 6は、オーディオデータの転送を可能にしたUSBオーディオインターフェースと音楽制作をサポートするソフトウェアCubase AIが同梱されています。簡単なセットアップや操作でコンピューター録音や本格的な音作りが実現できます。

AUDIOGRAM 6の優れた機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

目次

はじめに	86
目次.....	86
特長.....	87
セットアップ例	88
クイックガイド	89
1. Cubase AIをインストールする.....	89
2. 接続する.....	89
3. 電源を入れる.....	90
4. 音量を調整する.....	90
5. Cubase AIに録音する.....	91
6. Cubase AIでミックスダウン.....	95
各部の名称と機能	96
入力された信号の流れ.....	97
困ったときは?	98
ユーザーサポートサービスのご案内	100
保証とアフターサービス	101
保証書	102
仕様一覧	104
一般仕様.....	104
寸法図.....	104
ブロック図.....	105
同梱ディスクについて	111

特長**USBケーブル1本でコンピューターと接続 89ページ**

付属のUSBケーブルを使ってコンピューターとAUDIOGRAM本体を簡単に接続できます。オーディオデータ(2チャンネル)をUSB経由でコンピューターからAUDIOGRAM本体、AUDIOGRAM本体からコンピューターの双方向に送れます。(サンプリング周波数 44.1/48 kHz)

ドライバーインストール不要..... 89ページ

コンピューターのOSに標準で付属されているドライバーが使用できるので、ドライバーをインストールする必要はありません。

DAWソフトウェアCubase AI付属..... 89ページ

付属のソフトウェアCubase AIを使うと、手軽にハードディスクレコーディングを楽しむことができます。

コンプレッサー 97ページ

マイクや生楽器(ギター)などの入力にコンプレッサーをかけると、音声信号のピークを圧縮して音を歪ませずに全体の音量を上げることができます。

ファンタム電源(+48 V)..... 97ページ

PHANTOM +48Vスイッチをオンにすると、インプットチャンネル1の端子にファンタム電源を供給することができます。外部電源の必要なコンデンサーマイクも手軽に接続できます。

付属品

- ・ Cubase AI DVD-ROM
- ・ USBケーブル
- ・ 取扱説明書(本書)

*保証書は本書 102ページに記載されています。

セットアップ例

コンデンサータイプのマイクを接続する場合は、PHANTOM +48Vスイッチ (★)をON (■)にする。

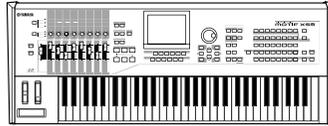
マイク



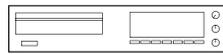
エレキギター



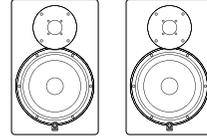
ステレオ出力機器 (キーボードなど)



CDプレーヤー



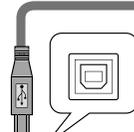
パワードモニタースピーカー



ヘッドフォン

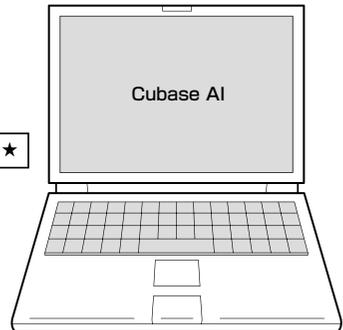
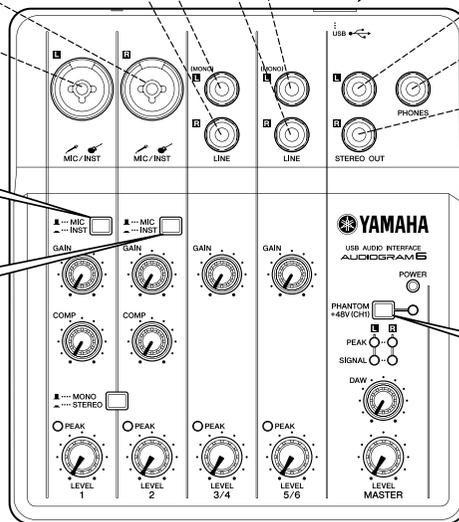


USBケーブル



マイクなどのレベルが低い入力信号を接続する場合は
■... MIC

エレキギター、ベースギターなどを接続する場合は
▲... INST



コンピューター

クイックガイド

このクイックガイドは、Cubase AIのインストールからCubase AIを使つての録音やミックスダウンまでの操作手順を説明しています。この取扱説明書の各部の名称と機能(96ページ)やCubase AIに付属のマニュアル(PDF形式)とあわせてご活用ください。

Step 1 Cubase AIをインストールする

重要! このソフトウェアは、インストールの途中で表示される「Steinberg ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約(EULA)」にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

1 コンピューターを起動し、管理者権限のあるアカウントでログオンします。

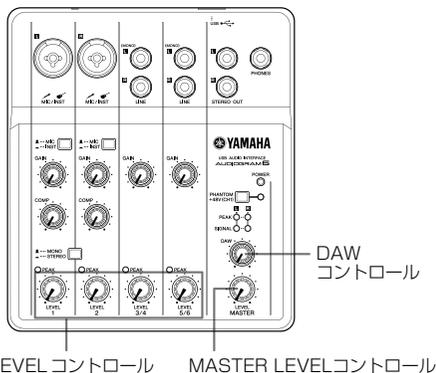
2 DVD-ROMドライブに付属のDVD-ROMを挿入します。

3 画面の指示にしたがって、Cubase AIをインストールします。

- NOTE**
- ・Cubase AIを継続してご使用いただくために、ユーザー登録とソフトウェアライセンス認証が必要です。登録と認証は、インターネットに接続した状態でCubaseを起動したときに行なえます。起動時に表示される「今すぐ登録」ボタンをクリックし、表示されたすべての項目を入力してください。登録と認証をされない場合は、インストール後、一定期間のみご使用いただけます。
 - ・Macの場合は、「Cubase AI*.mpkg」のアイコンか、「Cubase AI* Start Center」のアイコンをダブルクリックしてインストールします。(*はバージョン番号です。)
 - ・最新の動作環境については下記のURLをご参照ください。
<http://www.yamahasyth.com/jp/>

Step 2 接続する

1 接続するすべての機器(コンピューターを除く)の電源をオフ(STANDBY)にして、本体のLEVELコントロール、MASTER LEVELコントロールおよびDAWコントロールを最小にします。



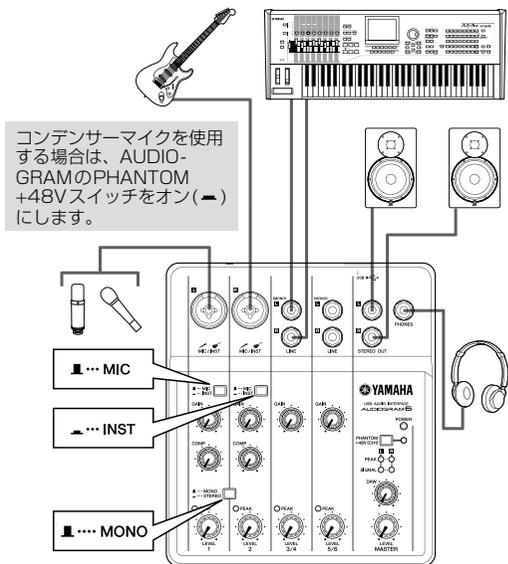
2 楽器やマイクなどを接続します。

接続については、セットアップ例(88ページ)や各部の名称と機能(96ページ)をご覧ください。

3 インプットチャンネル1、2の場合、接続した機器に応じてMIC/INST切り替えスイッチを切り替えます。

マイクを接続した場合はMIC (■)、ギターなどを接続した場合はINST (■)にします。

4 インプットチャンネル1と2をモノラルチャンネルとして使用する場合はMONO/STEREOスイッチをMONO (■)、ステレオチャンネルとして使用する場合はSTEREO (■)にします。



Step **3** 電源を入れる

スピーカーから大きなノイズが発生しないようにするため、楽器、マイク、CDプレーヤーなどの音源に近い機器から順に電源をオンにします。

- 1 楽器やマイクの電源を入れます。
- 2 チャンネル1にコンデンサーマイクを接続した場合は、PHANTOM +48Vスイッチをオン(■)にしてください。

- ! ファンタム電源を入れる場合は、下記の点に注意してください。
 - ・ ファンタム電源が不要なときは、必ずPHANTOM +48Vスイッチをオフ(■)にしておいてください。
 - ・ ファンタム電源をオンにする場合は、コンデンサーマイク以外の機器(XLRタイプ)がチャンネル1のMIC/INST端子に接続されていないことを確認してください。外部機器の故障の原因になります。ただし、バランス型ダイナミックマイクや出力端子がフォーンタイプの楽器は接続されていても問題ありません。
 - ・ スピーカー保護のために、パワーアンプ(パワードスピーカー)の電源がオフの状態、ファンタム電源をオン/オフしてください。また、MASTER LEVELコントロールは、最小にしておくことをおすすめします。大音量が出て、聴力障害または機器の損傷になることがあります。

- 3 付属のUSBケーブルを使ってコンピューターと本体を接続します。
本体の電源がオンになり、POWERインジケータが点灯します。

USB端子ご使用時の注意

USB端子とコンピューターを接続するときは、以下のことを行なってください。
以下のことを行なわないと、コンピューターやAUDIOGRAM本体が停止(ハングアップ)して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動してください。

- !
 - ・ USB端子とコンピューターを接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
 - ・ USBケーブルの抜き差しをする前に、コンピューターのすべてのアプリケーションを終了させてください。
 - ・ USBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行なってください。

- ! USBケーブルをUSB端子から抜き差しする場合は、DAWコントロールとMASTER LEVELコントロールを最小にしてください。

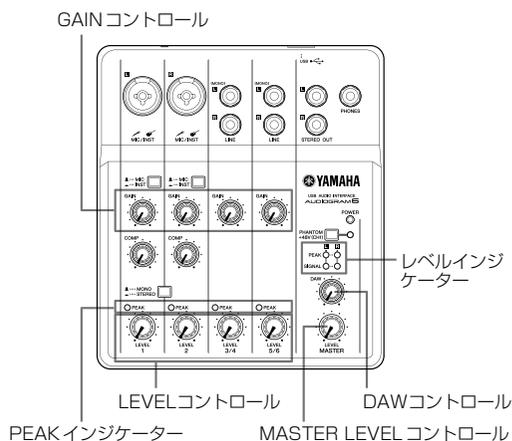
NOTE はじめてコンピューターのUSB端子に接続した場合や、以前接続したUSB端子と違う端子に接続した場合は、ドライバーのインストール画面が表示されることがあります。その場合は、インストールが完了するまでお待ちください。

- 4 モニタースピーカー(パワードスピーカー)の電源を入れます。

Step **4** 音量を調整する

- 1 GAINコントロールを最小、LEVELコントロールを1時の位置に設定します。
 - ! MASTER LEVELコントロールは最小にしてください。大音量が出て、聴覚障害または機器の損傷になることがあります。
- 2 AUDIOGRAMに接続した機器側の音量レベルを調整します。
- 3 最大入力時にインプットチャンネルのPEAKインジケータが一瞬点灯するようにGAINコントロールを調整します。
- 4 モニタースピーカーやヘッドフォンで音聞きながら、MASTER LEVELコントロールで全体の音量を調整します。

レベルインジケータのPEAK LEDが点灯する場合は、LEVELコントロールで音量を下げてください。



Step 5 Cubase AIに録音する

先ほどインストールしたCubase AIとAUDIOGRAMを使って録音してみましょう。

NOTE 本書の説明ではCubase AI 6を使用します。他のバージョンのCubase AIの場合や、Cubase AIの操作についてさらに詳しく知りたい場合は、Cubase AIに付属のマニュアル(PDF形式)をご覧ください。

Cubase AIのセットアップ

1 コンピューターの音量を最大値に設定します。

設定方法は、98ページ「困ったときは?」の「録音した音量が小さい」の項目をご覧ください。

2 Cubase AIを起動します。

Windowsの場合：

[スタート]→[すべてのプログラム]→
[Steinberg Cubase AI *]→[Cubase AI *]を
クリックします。(*はバージョン番号です。)

NOTE ASIO Direct Sound Full Duplex Driver ダイアログが表示される場合は、[OK]をクリックしてください。

Macの場合：

[アプリケーション]→[Cubase AI *]をダブル
クリックします。(*はバージョン番号です。)

NOTE ・Cubase AIをインストールするときにファイルの保存先を指定した場合は、指定した保存先からCubase AIを起動します。
・デスクトップにCubase AIのショートカット、またはエイリアスを作っておくと便利です。

3 プロジェクトアシスタントウィンドウが表示されたら、[その他]メニュー→[Empty]を選択して、[作成]をクリックします。



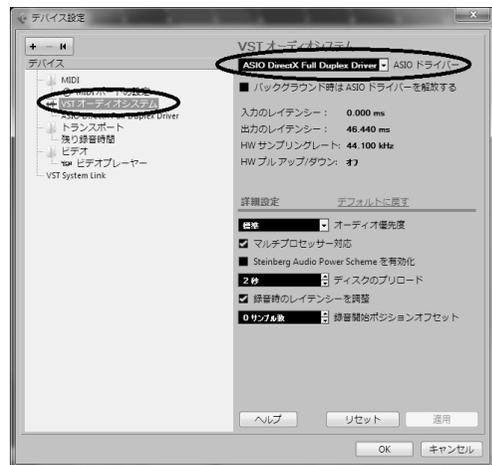
新規プロジェクトが作成されます。

NOTE Cubase AIでは、録音するデータのファイルをプロジェクトと呼びます。

4 [デバイス]メニュー→[デバイス設定]を選択して、デバイス設定ウィンドウを開きます。

Windowsの場合：

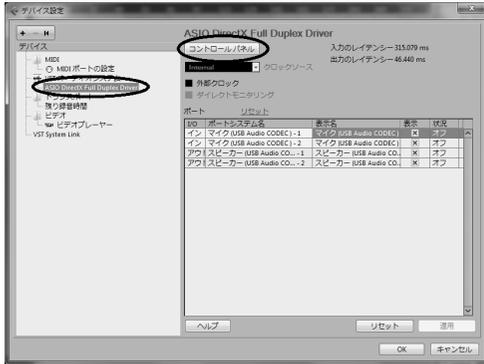
左側の[デバイス]欄で[VSTオーディオシステム]を選択します。右側の[ASIOドライバー]で[ASIO DirectX Full Duplex Driver]を選択します。「ASIOドライバーを切り換えますか?」というダイアログが表示されたら、[切り換え]をクリックします。



Macの場合：

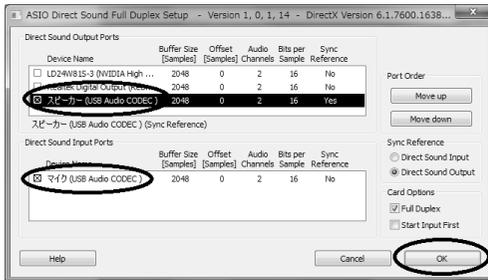
左側の[デバイス]欄で[VSTオーディオシステム]を選択します。右側の[ASIOドライバー]で[USB Audio CODEC]を選択して、「ASIOドライバーを切り換えますか?」というダイアログが表示されたら、[切り換え]をクリックします。

5 デバイス設定ウィンドウ左側の[デバイス]欄で [ASIO DirectX Full Duplex Driver] (Windowsの場合)、[USB Audio CODEC] (Macの場合) を選択し、右側の[コントロールパネル]ボタンをクリックします。



Windowsの場合：

ASIO Direct Sound Full Duplex Setupダイアログが表示されます。出力ポートと入力ポートの設定で[USB Audio CODEC]のみにチェックを入れ、[OK]をクリックしてダイアログを閉じます。

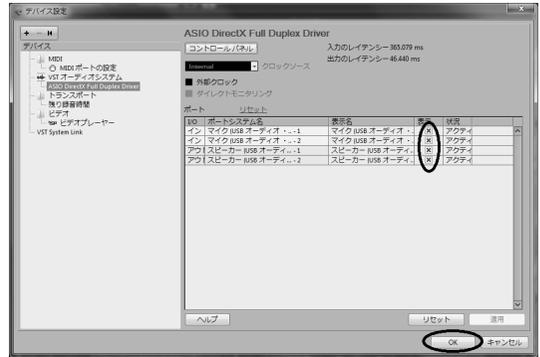


Macの場合：

CoreAudio Device Settings ダイアログが表示されます。[Input/Output Configuration] 欄の「Input」と「Output」それぞれの「USB Audio CODEC」にチェックを入れます。[Close]をクリックしてダイアログを閉じます。

6 デバイス設定ウィンドウの[ポート]欄の[ポートシステム名]が「USB Audio CODEC - 1/2」 (Windowsの場合)、「Front Left/Front Right」 (Macの場合) になっていることを確認し、[表示]欄にチェックを入れます。[OK]をクリックしてデバイス設定ウィンドウを閉じます。

NOTE [ポートシステム名]が変更されない場合は、Cubase AIを再起動し、デバイス設定ウィンドウを再度開いてください。



7 [デバイス]メニュー→[VST コネクション]を選択します。

Windowsの場合：

[オーディオデバイス]欄で「未接続」が選択されている場合は、「未接続」をクリックし、[ASIO DirectX Full Duplex Driver]に切り替えてください。出力も同じように設定して、ウィンドウを閉じます。



Macの場合：

[オーディオデバイス]欄で「未接続」が選択されている場合は、「未接続」をクリックし、[USB Audio CODEC]を選択します。出力も同じように設定して、ウィンドウを閉じます。

8 [プロジェクト]メニュー→[トラックを追加]→[オーディオ]を選択します。

オーディオトラックを追加するダイアログが表示されます。

9 [数]と[構成]を指定して、[トラックを追加]をクリックします。



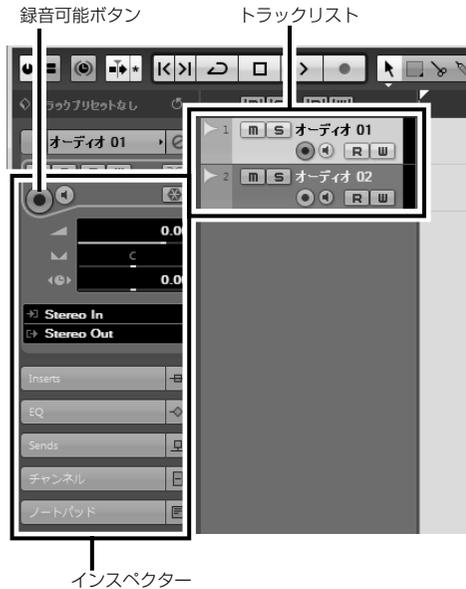
トラックが表示されます。

NOTE シンセサイザーなどの楽器を録音する場合はステレオトラック、ボーカルやギターを録音するときはモノラルトラックに録音するのが一般的です。

録音の準備

1 トラックリスト(トラック名が表示されている箇所)をクリックして、録音するトラックを選択します。

選択したトラックの各種設定が、左側のインスペクターに表示されます。



2 録音するトラックの録音可能ボタンがオンになっていることを確認します。

録音可能ボタンがオフになっている場合はクリックしてオンにしてください。

3 録音する楽器を演奏しながら、トランスポートパネルのレベルメーターが振り切れないように(クリッピングインジケータが赤く点灯しないように)、AUDIOGRAMのインプットチャンネルのGAINコントロールとLEVELコントロールで音量を調整します。

<トランスポートパネル>

クリッピングインジケータ



4 プロジェクトのウィンドウの上部にあるルーラーで、録音を開始する位置を設定します。ルーラーが表示されている黒い部分をクリックすると、プロジェクトカーソル(黒い縦のライン)がそのポジションに移動します。

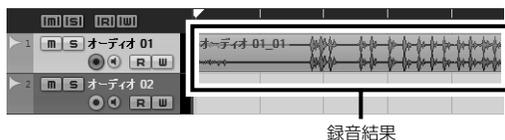
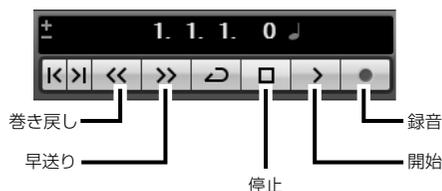


録音/再生

1 トラックパネルの録音ボタンをクリックして、録音を開始します。

録音が始まると、プロジェクトカーソルが右に動き始め、録音結果を示すボックスが作られます。

<トランスポートパネル>

**2** 楽器を演奏します。**3** 演奏が終わったら、トランスポートパネルの停止ボタンをクリックします。

録音結果を再生するには、トランスポートパネルの巻き戻しボタンやルーラーを使って巻き戻してから、トランスポートパネルの開始ボタンをクリックします。

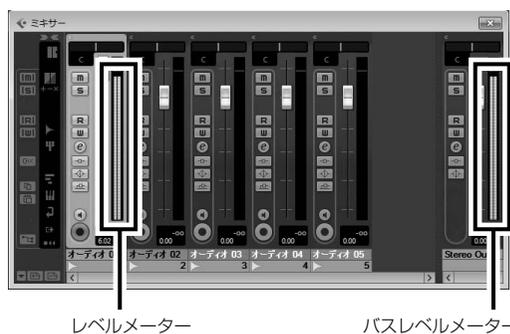
ノイズが少ない音を録音するには

AUDIOGRAMからのオーディオ信号のレベルをできるだけ大きくすることによって、ノイズが少ないバランスのとれた信号を録音できます。録音するオーディオ信号のレベルは、AUDIOGRAMのDAWコントロールを最小にすると、レベルインジケータで確認できます。レベルインジケータのPEAK LEDが一瞬点灯するように、各チャンネルのLEVELコントロールで音量を調整してください。

4 [デバイス]メニュー→[ミキサー]を選択して、ミキサーウィンドウを表示します。

全体の音量はミキサーウィンドウ右側のマスターセクションのバスレベルメーターに、各チャンネルのレベルは各チャンネルストリップのレベルメーターに表示されます。

NOTE Cubase AIの再生音をAUDIOGRAMで聞く場合は、DAWコントロールとMASTER LEVELコントロールで音量を調整してください。コンピューターの音量を最大値のときに、AUDIOGRAMのDAWコントロールを1時の位置に設定すると、再生時の音量が録音時と同じになります。

**5** プロジェクトを保存するには、[ファイル]メニュー→[保存]を選択して、ファイル名を指定して保存します。

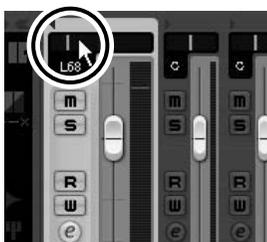
予期せぬトラブルに備えて、プロジェクトはこまめに保存しましょう。

6 同じトラックに引き続き録音するには、手順1から5を繰り返します。**7** 別のトラックに引き続き録音するには、別のトラックを選択して録音手順を繰り返します。

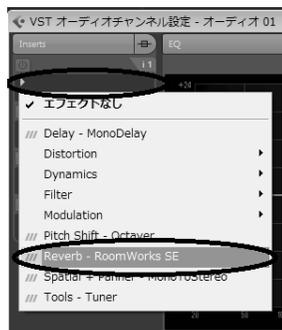
Step 6 Cubase AIでミックスダウン

録音した複数のオーディオトラックをステレオにミックスして、ウェーブファイルを作成してみましょう。WAVファイルやAIFFファイルに保存してオーディオCDを作成できます。

- 1 Cubase AIを起動して、プロジェクトファイルを開きます。
- 2 トラックパネルの開始ボタンをオンにします。
- 3 再生音を聞きながら、チャンネルストリップのレベルフェーダーを上下にドラッグして、各トラックの音量バランスを調整し、全体の音量を右側のマスターボリュームフェーダーで調整します。
- 4 チャンネルストリップの上部にあるパンコントロールを左右にドラッグして、各トラックのパン(左右のバランス)を調整します。



- 5 必要に応じて、EQで音質を調整したり、エフェクトをかけたりします。
ここでは例として、リバーブをかけてみましょう。チャンネルストリップ左側にあるエディットボタン  をクリックして、VSTオーディオチャンネル設定ウィンドウを開きます。Inserts 1 をクリックして「Reverb - RoomWorks SE」を選びます。



NOTE さらに詳しく知りたい場合は、Cubase AIに付属のマニュアル(PDF形式)をご覧ください。



チャンネルストリップのレベルフェーダーを少し下げてからエフェクトを設定してください。エフェクトをかけると出力レベルが上がる場合があります。

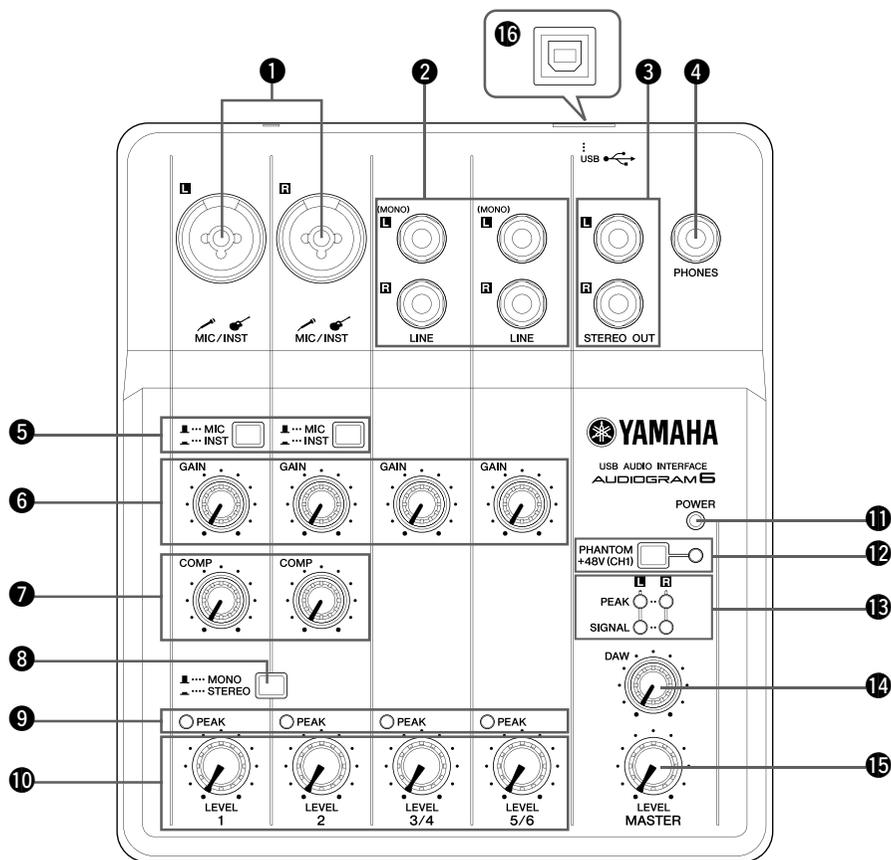
- 6 トラックパネルの左ロケータ(始点)と右ロケータ(終点)をダブルクリックします。それぞれハイライトされた数字を変更して、ロケータの位置を指定します。



- 7 ミックスの最終調整が終わったら、[ファイル]メニュー→[書き出し]→[オーディオミックスダウン]を選択します。
- 8 名前(ファイル名)を入力し、パス(保存先)とファイルの種類を選択します。
オーディオCDを作成する場合は、ファイルの種類としてWAVファイル(Mac OS Xの場合はAIFFファイル)、「44.1kHz」「16 Bit」を選択します。
- 9 [書き出し]をクリックします。
ミックスダウンの進行状況を示すダイアログが表示されます。ダイアログが閉じたらミックスダウンが完了です。

NOTE ミックスダウンしたファイルは、Windows Media PlayerやiTunesなどで再生できます。

各部の名称と機能



① MIC/INST入力端子

ギターやマイクなどを接続します。この端子には出力端子が XLR タイプまたはフォーンタイプの機器を接続できます。接続した機器の信号レベルに合わせて MIC/INST 切り替えスイッチ ⑤ を切り替えてください。

XLRタイプ



フォーンタイプ



NOTE エレキギターやエレキベースを直接接続することもできます。

② LINE 入力端子(L(MONO)/R)

シンセサイザーや CD プレーヤーなどステレオ信号で出力される機器を接続します。L (MONO)端子のみに接続すると、Rにも同じ信号が流れ、モノラル信号になります。

フォーンタイプ



③ STEREO OUT 出力端子

インプットチャンネル 1 ~ 5/6 に入力された信号がミックスされて出力されます。出力レベルは、MASTER LEVEL コントロールで調整します。この端子には、モニタースピーカー (パワードスピーカー)などを接続します。

④ PHONES端子

ヘッドフォンを接続します。STEREO OUT 端子と同じ信号をモニターできます。

⑤ MIC/INST切り替えスイッチ

MIC/INST入力端子 ① に接続した機器に応じて切り替えます。マイクを接続した場合は、MIC (■)、エレキギターやエレキベースを接続した場合はINST (■)にします。

NOTE MIC/INST端子に機器を接続しない場合は、このスイッチをMIC (■)にしてください。INST (■)にすると、ノイズが入ることがあります。

⑥ GAINコントロール

入力信号の感度(信号の増幅量)を調節します。信号の最大入力時にインプットチャンネルの PEAK インジケータ ⑨ が一瞬点灯する程度に設定すると、バランスがとれた良好な状態になります。

7 COMPコントロール

コンプレッサーのかかり具合を調節します。COMP コントロールを右に回すと、圧縮効果だけでなく出力レベルも自動的に調整されます。過大入力を圧縮して、信号を歪ませずに全体の音圧を上げることができます。

NOTE COMPコントロールのレベルを上げすぎると出力レベルが上がるため、ハウリングしやすくなります。少し抑えて設定してください。

8 MONO/STEREO切り替えスイッチ

インプットチャンネル1と2をモノラルチャンネルとして使用するか、ステレオチャンネルとして使用するかを決めます。このスイッチをMONO (■)にすると、インプットチャンネル1と2がモノラルチャンネルとなり、STEREO OUT出力端子③のLとRの両方にインプットチャンネル1と2の信号が送られます。STEREO (■)にすると、インプットチャンネル1と2をステレオチャンネルとして使用できます。このとき、インプットチャンネル1の信号はSTEREO OUT端子のLへ、インプットチャンネル2の信号はSTEREO OUT端子のRへ送られます。

9 PEAKインジケータ

コンプレッサー通過後の信号がクリッピングレベルに近づくときPEAKインジケータが点灯します。このインジケータが点灯した場合は、GAIN コントロール⑥やCOMPコントロール⑦の設定を下げてください。

10 LEVELコントロール

インプットチャンネルの信号の出力レベルを調整し、チャンネル間の音量バランスを調整します。

11 POWERインジケータ

付属のUSBケーブルでAUDIOGRAMをコンピュータに接続し電源が供給されると、POWERインジケータが点灯します。

12 PHANTOM +48V (CH1)スイッチ/インジケータ (チャンネル1のみ)

ファンタム電源をオン/オフするスイッチです。このスイッチをオン(■)にすると、インプットチャンネル1のMIC/INST入力端子①(XLRタイプ)にファンタム電源を供給します。コンデンサーマイクを使用するときは、このスイッチをオンにしてください。



- ファンタム電源が不要なときは、必ずこのスイッチをオフにしておいてください。
- ファンタム電源をオンにする場合は、コンデンサーマイク以外の機器(XLRタイプ)がチャンネル1のMIC/INST端子に接続されていないことを確認してください。外部機器の故障の原因になります。ただし、バランス型ダイナミックマイクや出力端子がフォーンタイプの楽器は接続されていても問題ありません。
- スピーカー保護のために、パワーアンプ(パワードスピーカー)の電源がオフの状態でも、ファンタム電源をオン/オフしてください。また、MASTER LEVELコントロールは、最小にしておくことをおすすめします。大音量が出て、聴力障害または機器の損傷になることがあります。

13 レベルインジケータ

MASTER LEVELコントロール⑮調整前の信号レベルを表示します。信号が入力されるとSIGNAL LEDが点灯し、クリッピングレベルに近づくときPEAK LEDが点灯します。PEAK LEDが点灯する場合は、各インプットチャンネルのLEVELコントロール⑩で信号のレベルを下げてください。

14 DAWコントロール

Cubase AIからAUDIOGRAMのSTEREO OUT出力端子③に入力される信号のレベルを調整します。

15 MASTER LEVELコントロール

STEREO OUT出力端子③に出力される信号のレベルを調整します。各インプットチャンネルの音量バランスを変化させることなく、全体の音量だけを調節します。

16 USB端子

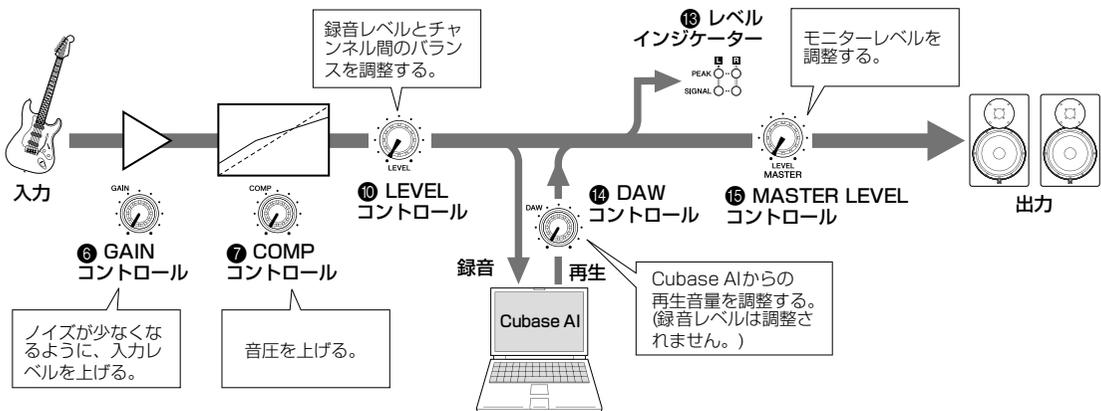
付属のUSBケーブルを使って、コンピュータに接続する端子です。AUDIOGRAMをコンピュータに接続すると、本体に電源が供給され、本体とコンピュータ間でオーディオデータを出入力できます。



USBケーブルをUSB端子から抜き差しする場合は、DAWコントロールとMASTER LEVELコントロールを最小にしてください。

NOTE USBケーブルは、1.5m以下のものを推奨します。

■ 入力された信号の流れ



困ったときは？

本体の電源が入らない

- 付属のUSBケーブルが本体とコンピューターに正しく接続されていますか？

正常に動作しない

- USBケーブルやオーディオケーブルなどは正しく接続されていますか？
- USBハブをお使いではありませんか？AUDIOGRAM をコンピューターに直接接続してお試しください。また、USBポートが複数ある場合は、他のUSBポートもお試しください。
- 他のUSB機器を使用していませんか？他のUSB機器も接続している場合は、ヤマハUSB機器だけを接続して問題がないか確認してください。

入力ポートが表示されない(Windows 7/Vista)

1. 「スタート」から「コントロールパネル」をクリック、「サウンド」アイコンをダブルクリックして、「サウンド」ダイアログを表示させます。
2. 「録音」タブをクリックし、「2-USB Audio CODEC」アイコンを右クリックして「プロパティ」を選択します。
3. 「詳細」タブをクリックして、「既定の形式」で「2チャンネル、16ビット、44100Hz (CDの音質)」または「2チャンネル、16ビット、48000Hz (DVDの音質)」を選択します。

音が鳴らない

- スピーカーケーブルがショート(断線)していませんか？
- 音源、オーディオ機器、アプリケーション、OS(コンピューター)などの音量設定は上がっていますか？
- OS(コンピューター)の出力がミュートまたは、消音の設定になっていませんか？
- 複数のアプリケーションを起動していませんか？不要なアプリケーションなどは終了してください。
- OS(コンピューター)側のオーディオデータの出力先を設定してありますか？

Windows 7/Vistaの場合:

1. 「スタート」から「コントロールパネル」をクリック、「サウンド」アイコンをダブルクリックして、「サウンド」ダイアログを表示させます。
2. 「再生」タブをクリックし、「2-USB Audio CODEC」アイコンにチェックが入っているか確認します。チェックがない場合は、「2-USB Audio CODEC」アイコンを右クリックし、「既定のデバイスとして設定」を選択します。
3. 同様に、「録音」タブをクリックし、「2-USB Audio CODEC」アイコンにチェックが入っているか確認します。チェックがない場合は、「2-USB Audio CODEC」アイコンを右クリックし、「既定のデバイスとして設定」を選択します。

Windows XPの場合:

1. 「スタート」から「コントロールパネル」をクリック、「サウンドとオーディオデバイス」のアイコンをダブルクリックして、「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」ダイアログを表示させます。
2. 「オーディオ」タブをクリックします。
3. 「音の再生: 既定のデバイス」と「録音: 既定のデバイス」を「USB Audio CODEC」に設定します。
4. 「OK」をクリックします。

Macの場合:

1. アップルメニューをクリックして、「システム環境」からサウンドを選択します。「サウンド」ダイアログを表示させます。
 2. 入力タブをクリックして、「サウンド入力源の選択」から「USB Audio CODEC」を選択します。
 3. 出力タブをクリックして、「サウンド出力装置の選択」から「USB Audio CODEC」を選択します。
- Cubase AI上でオーディオデータの出力先を設定していますか？設定方法については、クイックガイド(89ページ)をご覧ください。

録音した音量が小さい

- コンピューターからの出力設定が小さくなっていませんか？出力音量を最大値に設定することをおすすめします。また、このときコンピューターの操作音をミュートに設定してください。

Windows 7/Vistaの場合:

1. 「スタート」から「コントロールパネル」をクリック、「サウンド」アイコンをダブルクリックして、「サウンド」ダイアログを表示させます。
2. 「再生」タブをクリックし、「2-USB Audio CODEC」アイコンを右クリックして「プロパティ」を選択します。
3. 「レベル」タブをクリックして、「スピーカー」の音量を最大(100)に設定します。設定後、「プロパティ」ダイアログを閉じます。
4. 「サウンド」ダイアログの「サウンド」タブをクリックして、「サウンド設定(H)」で「サウンドなし」を選択します。

Windows XPの場合:

1. 「スタート」から「コントロールパネル」をクリック、「サウンドとオーディオデバイス」のアイコンをダブルクリックして、「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」ダイアログを表示させます。
2. 「音量」タブをクリックします。
3. 「デバイスの音量」を最大(高)に設定します。
4. 「サウンド」タブをクリックします。
5. 「サウンド設定」で「サウンドなし」を選択します。

Macの場合:

1. アップルメニューをクリックして、「システム環境」からサウンドを選択します。「サウンド」ダイアログを表示させます。
2. 出力タブをクリックして、下に表示されている主音量を最大に設定します。
3. サウンドエフェクトタブをクリックして、「警告音の音量」を最小に設定します。

- Cubase AI を起動した状態で USB ケーブルを抜き差ししていませんか？
Windows側の出力音量の設定が自動的に下がる（初期設定に戻る）場合があります。出力の音量を上げてください。

音が途切れる、または歪む

- PEAKインジケータが赤く点灯していませんか？
GAINコントロールまたは、LEVELコントロールのレベルを下げてください。
- コンプレッサーをかけすぎていませんか？
COMPコントロールでレベルを下げてください。
- 他のアプリケーションやデバイスドライバやUSBデバイス（スキャナ、プリンタなど）は動作していませんか？
不要なアプリケーションなどは終了してください。
- たくさんのオーディオトラックを再生していませんか？
お使いのコンピュータの能力によっては、たくさんのオーディオトラックを再生すると音が途切れたりすることがあります。
- 長時間のオーディオデータの録音 / 再生をしていませんか？
お使いのコンピュータによっては、オーディオデータの処理速度や外部記憶装置へのアクセスなどのさまざまな要因により、処理能力が低下する場合があります。

Windows XPの場合、以下のように設定を変更することで改善できる場合もあります。

1. 「スタート」から「コントロールパネル」をクリック、「サウンドとオーディオデバイス」のアイコンをダブルクリックして、「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」ダイアログを表示させます。
2. 「音量」タブをクリックして、「スピーカー設定」の「詳細設定」をクリックします。「オーディオの詳細プロパティ」ダイアログを表示させます。
3. 「パフォーマンス」タブをクリックします。ハードウェアアクセラレータ: 最大、サンプルレート: 標準に設定します。

コンピュータについて詳しい知識のある方以外、この設定は変更しないことをおすすめします。

ファイルシステムが適正に設定されているかなどをご確認ください。また、空きメモリが十分(128MB以上)あり、録音再生するウェーブファイルがそれほど大きくない場合、仮想メモリの設定を変更することで改善できる場合もあります。

その他、お使いのコンピュータによっては、ハードディスクコントローラなどのデバイスドライバやBIOSなどのアップデートが必要な場合もあります。詳しくは、お使いのコンピュータのサポート窓口やホームページなどでご確認ください。

- メモリを増やしてみてください。
メモリを増やすことによって、コンピュータの処理能力がアップします。メモリの増設については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

外部MIDI キーボードでソフトシンセを演奏すると音が遅れる(レイテンシーを短くしたい)

- 下記のURLにアクセスして、最新情報をご確認ください。
<<http://www.yamahasynth.com/jp/>>

ユーザーサポートサービスのご案内

■ ユーザー登録のお願い

弊社では、ユーザーの方をサポートし、関連情報をご提供するために、本製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。
ユーザー登録手続きは、下記ホームページよりお願いします。

ヤマハデジタル楽器・DTM製品ホームページ

<http://www.yamahasynth.com/jp/>

- * ユーザー登録には、製品本体のシリアル番号(SER No.)が必要になります。
- * ご登録いただいた「ご住所」、「お名前」、「メールアドレス」などを変更された場合は、上記ホームページよりお手続きください。

■ 質問の受付

ヤマハデジタル製品は、常に新技術/高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような製品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究/改善いたしております。

しかし、一部高機能デジタル製品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験を必要としてしまうものがあります。

実際の操作に関して、基本項目は取扱説明書に解説いたしておりますが、「記載内容が理解できない」、「手順通りに動作しない」、「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起こる場合があります。

そのようなお客様への一助となるよう、弊社ではスタインバーグ・コンピューターミュージックご相談窓口を開設いたしております。

お気軽にご利用いただけますようご案内申し上げます。
お問い合わせの際には、「製品名」、「シリアル番号(SER No.)」をお知らせください。

お客様コミュニケーションセンター スタインバーグ・コンピューターミュージックご相談窓口

ナビダイヤル  0570-016-808
(全国共通番号) 市内通話料でOK
ナビダイヤル

* 一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは 053-460-5270

営業時間： 月曜日～金曜日 10:00～18:00
土曜日 10:00～17:00
(祝日およびセンター指定休日を除く)

メールでのお問い合わせ

<http://jp.yamaha.com/support/music-production/>

* 営業日や営業時間を変更させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

付属DAWソフトウェアについては、Steinberg社のホームページをご覧ください。Steinberg社のホームページでは、製品に関するサポート情報や、最新のアップデートのダウンロード、FAQなどを下記URLにて公開しております。

<http://japan.steinberg.net/>

付属DAWソフトウェアの[ヘルプ(Help)]メニューからSteinberg社のホームページにアクセスできます。(ヘルプメニューには、付属DAWソフトウェアのPDFマニュアルや追加情報なども掲載されています。)

■ ご購入に関するお問い合わせ先

国内営業本部 EKB・LM営業部 営業推進室

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

TEL. (03) 5488-5430

PA事業部 マーケティング部

MPPマーケティンググループ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

ヤマハデジタル楽器・DTM製品ホームページ

<http://www.yamahasynth.com/jp/>

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

あなたの音楽生活をフルサポート ミュージックイークラブ

<http://www.music-eclub.com/>

* 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間、URLなどが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証書

本書に保証書が掲載されています。販売店印、お買い上げ日などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点など

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは?」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りの修理品お持ち込み窓口へ本機をご持参ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ 修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

● ナビダイヤル

(全国共通番号)



0570-012-808

※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話、PHS、IP電話からは TEL 053-460-4830

● 受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:00、土曜日 9:00～17:00

(祝日およびセンター指定休日を除く)

● FAX：東日本(北海道/東北/関東/甲信越) 03-5762-2125

西日本(沖縄/九州/中国/四国/近畿/東海/北陸) 06-6465-0374

◆ 修理品お持ち込み窓口

● 受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:45(祝日および弊社休業日を除く)

* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

北海道サービスステーション

〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50ヤマハセンター内

FAX 011-512-6109

首都圏サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX 03-5762-2125

名古屋サービスセンター

〒454-0832 名古屋市中川区清船町4丁目1-11 ピアノ運送株式会社名古屋営業所 1F

FAX 052-363-5903

大阪サービスセンター

〒554-0024 大阪市比花区島屋6-2-82 ユニバーサル・シティ和幸ビル9F

FAX 06-6465-0374

九州サービスステーション

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4

FAX 092-472-2137

* 名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

保 証 書

持込修理

品 名	Computer Recording System		
品 番	AUDIOGRAM 6		
※シリアル番号			
保 証 期 間	本 体	お買上げの日から1年間	
※お買上げ日	年 月 日		
※お 客 様	□□□□-□□□□		
	ご住所		
	お名前	様	
	電 話	()	

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。

お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。ご依頼の際は、購入を証明する書類（レシート、売買契約書、納品書など）をあわせてご提示ください。

（詳細は下項をご覧ください）

販	店 名		印
売	所在地		
店	電 話	()	

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入してお渡しく下さい。

ヤマハ株式会社 PA事業部

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10番1号

無償修理規定

1. 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無償修理を致します。
2. 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
3. ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - (1) 本書のご提示がない場合。
 - (2) 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (4) お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - (6) お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

* この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。

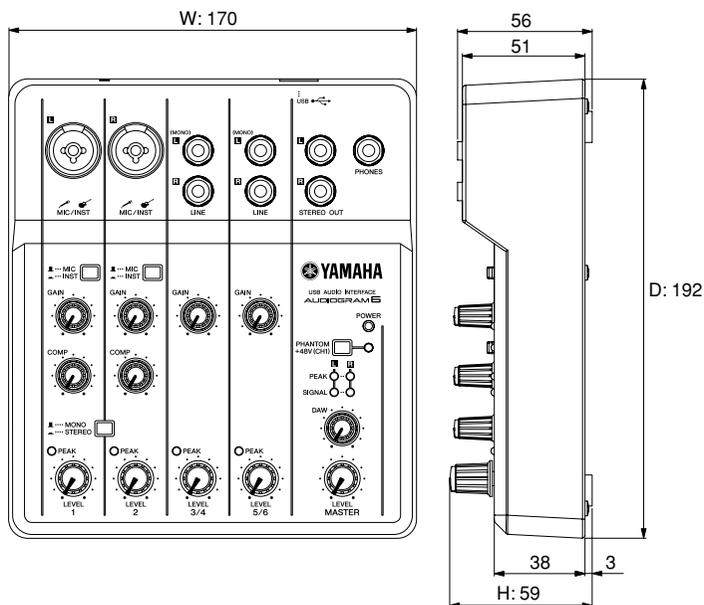
※ヤマハ株式会社の連絡窓口その他につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

Specifications

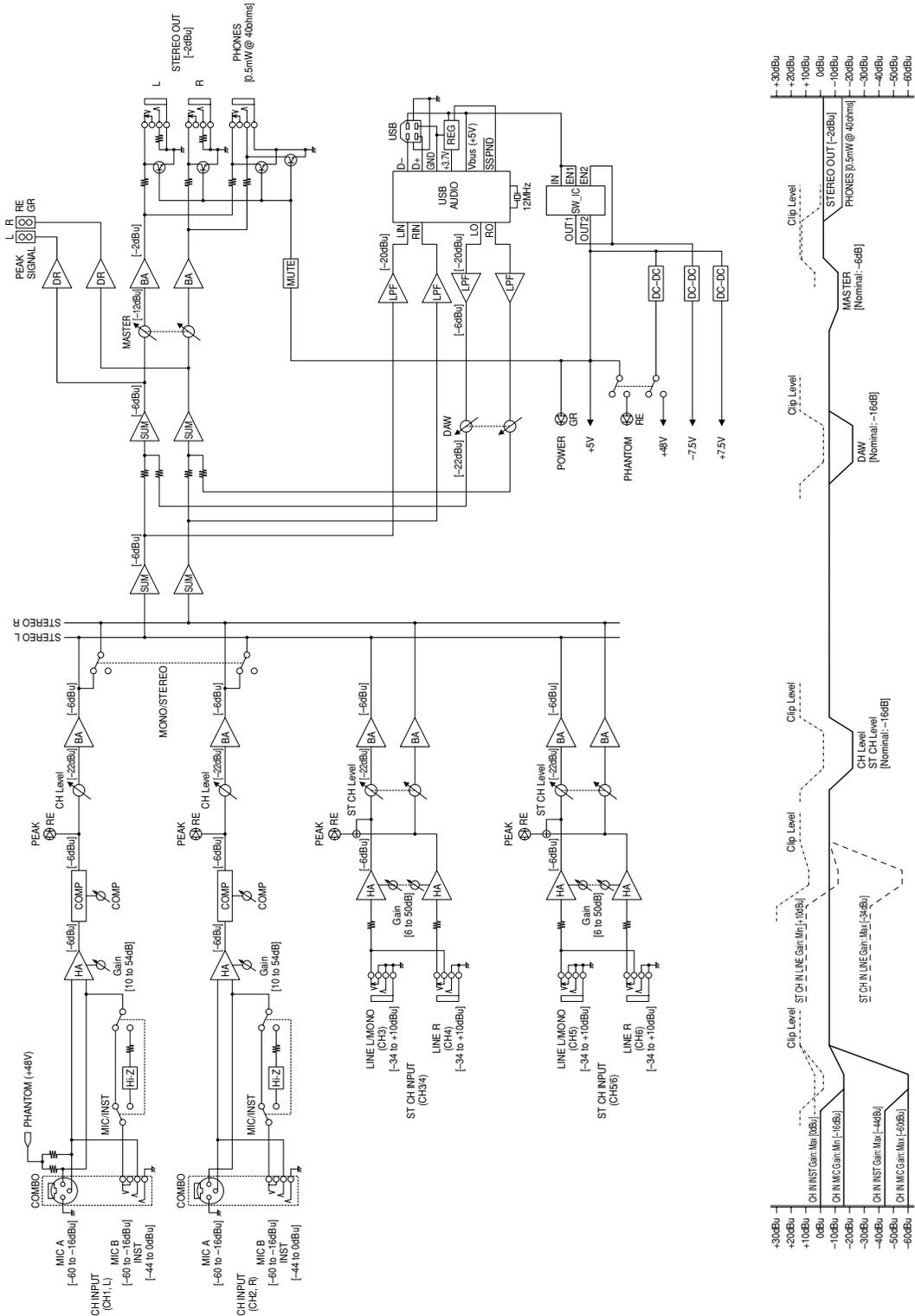
■ General Specifications

Jacks	MIC/INST Input Jack	x 2	Combo jacks (Mic/HiZ)
	LINE Input Jacks (L, R)	x 2	Phone jacks
	PHONES Jack	x 1	Phone jack
	STEREO OUT Jacks (L, R)	x 1	Phone jacks
	USB Connector	x 1	USB 1.1 44.1/48 kHz, 16 bit
Controls	MIC/INST Switch	x 2	MIC: for microphones INST (Hi-Z): for guitars, etc.
	GAIN Control	x 4	Gain for CH 1-5/6
	COMP Control	x 2	Compressor for CH 1, 2
	MONO/STEREO Switch	x 1	MONO: CH 1, 2 signals function as independent mono channels. STEREO: CH 1, 2 signals function as a stereo pair.
	LEVEL Control	x 4	Adjust the level of CH 1-5/6
	PHANTOM +48V Switch	x 1	48 V, only for CH1
	DAW Control	x 1	Adjusts the DAW playback signal
Indicators	Level Indicators	x 1	2 points (green, red)
	PEAK Indicator	x 4	Red
	Phantom Power	x 1	Red
	Power	x 1	Green
Power Supply	USB bus-powered		
Dimensions (W x H x D)	170 x 59 x 192 mm		
Net Weight	760 g		
Included Accessories	Cubase AI DVD-ROM USB cable Owner's Manual		

■ Dimensional Diagrams



Block Diagram and Level Diagram



同梱ディスクについて

■ ご注意

- ・ 付属のソフトウェアの著作権は、Steinberg Media Technologies GmbH社が所有します。
- ・ 付属のソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ 付属のソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 付属のソフトウェアのディスクは、オーディオ用ではありません。一般のオーディオ・ビジュアル用のCD/DVDプレーヤーでは絶対に使用しないでください。
- ・ ヤマハ株式会社では、付属のソフトウェアについてのサポートは、一切行なっておりません。

■ 付属DAWソフトウェアについて

同梱のディスクには付属DAWソフトウェアが入っています(Windows/Mac)。

- NOTE**
- ・ 付属DAWソフトウェアをインストールするときは、管理者権限のあるアカウントで行なってください。
 - ・ 付属のDAWソフトウェアを継続してご使用いただくために、ユーザー登録とソフトウェアライセンス認証が必要です。登録と認証は、インターネットに接続した状態で付属のソフトウェアを起動したときに行なえます。起動時に表示される「今すぐ登録」ボタンをクリックし、表示されたすべての項目を入力してください。登録と認証をされない場合は、インストール後、一定期間のみご使用いただけます。
 - ・ Macの場合は、「Cubase AI*.mpkg」のアイコンか、「Cubase AI* Start Center」のアイコンをダブルクリックしてインストールします。(*はバージョン番号です。)

最新の動作環境については、下記のURLをご参照ください。

<http://www.yamahasynth.com/jp/>

■ サポートについて

付属DAWソフトウェアについては、スタインバーグ社のホームページをご覧ください。スタインバーグ社のホームページでは、製品に関するサポート情報や最新のアップデートのダウンロード、FAQなどを下記URLにて公開しております。

<http://japan.steinberg.net/>

付属DAWソフトウェアの[ヘルプ(Help)]メニューからスタインバーグ社のホームページにアクセスできます。(ヘルプメニューには付属DAWソフトウェアのPDFマニュアルや追加情報なども掲載されています。)

For details of products, please contact your nearest Yamaha representative or the authorized distributor listed below.

Pour plus de détails sur les produits, veuillez-vous adresser à Yamaha ou au distributeur le plus proche de vous figurant dans la liste suivante.

Die Einzelheiten zu Produkten sind bei Ihrer unten aufgeführten Niederlassung und bei Yamaha Vertragshändlern in den jeweiligen Bestimmungsländern erhältlich.

Para detalles sobre productos, contacte su tienda Yamaha más cercana o el distribuidor autorizado que se lista debajo.

NORTH AMERICA

CANADA

Yamaha Canada Music Ltd.
135 Milner Avenue, Scarborough, Ontario,
M1S 3R1, Canada
Tel: 416-298-1311

U.S.A.

Yamaha Corporation of America
6600 Orangethorpe Ave., Buena Park, Calif. 90620,
U.S.A.
Tel: 714-522-9011

CENTRAL & SOUTH AMERICA

MEXICO

Yamaha de México S.A. de C.V.
Calz. Javier Rojo Gómez #1149,
Col. Guadalupe del Moral
C.P. 09300, México, D.F., México
Tel: 55-5804-0600

BRAZIL

Yamaha Musical do Brasil Ltda.
Rua Joaquim Floriano, 913 - 4º andar, Itaim Bibi,
CEP 04534-013 Sao Paulo, SP. BRAZIL
Tel: 011-3704-1377

ARGENTINA

Yamaha Music Latin America, S.A.
Sucursal de Argentina
Olga Cossetini 1553, Piso 4 Norte
Madero Este-C1107CEK
Buenos Aires, Argentina
Tel: 011-4119-7000

PANAMA AND OTHER LATIN AMERICAN COUNTRIES/ CARIBBEAN COUNTRIES

Yamaha Music Latin America, S.A.
Torre Banco General, Piso 7, Urbanización Marbella,
Calle 47 y Aquilino de la Guardia,
Ciudad de Panamá, Panamá
Tel: +507-269-5311

EUROPE

THE UNITED KINGDOM/IRELAND

Yamaha Music U.K. Ltd.
Sherbourne Drive, Tilbrook, Milton Keynes,
MK7 8BL, England
Tel: 01908-366700

GERMANY

Yamaha Music Europe GmbH
Siemensstraße 22-34, 25462 Rellingen, Germany
Tel: 04101-3030

SWITZERLAND/LIECHTENSTEIN

Yamaha Music Europe GmbH
Branch Switzerland in Zürich
Seefeldstrasse 94, 8008 Zürich, Switzerland
Tel: 01-383 3990

AUSTRIA

Yamaha Music Europe GmbH Branch Austria
Schleiergasse 20, A-1100 Wien, Austria
Tel: 01-60203900

CZECH REPUBLIC/SLOVAKIA/ HUNGARY/SLOVENIA

Yamaha Music Europe GmbH Branch Austria
Schleiergasse 20, A-1100 Wien, Austria
Tel: 01-602039025

POLAND/LITHUANIA/LATVIA/ESTONIA

Yamaha Music Europe GmbH
Branch Sp.z o.o. Oddział w Polsce
ul. 17 Stycznia 56, PL-02-146 Warszawa, Poland
Tel: 022-500-2925

THE NETHERLANDS/ BELGIUM/LUXEMBOURG

Yamaha Music Europe Branch Benelux
Clarissenhof 5-b, 4133 AB Vianen, The Netherlands
Tel: 0347-358 040

FRANCE

Yamaha Musique France
BP 70-77312 Marne-la-Vallée Cedex 2, France
Tel: 01-64-61-4000

ITALY

Yamaha Musica Italia S.P.A.
Combo Division
Viale Italia 88, 20020 Lainate (Milano), Italy
Tel: 02-935-771

SPAIN/PORTUGAL

Yamaha Música Ibérica, S.A.
Ctra. de la Coruna km. 17, 200, 28230
Las Rozas (Madrid), Spain
Tel: 91-639-8888

GREECE

Philippos Nakas S.A. The Music House
147 Skiathou Street, 112-55 Athens, Greece
Tel: 01-228 2160

SWEDEN

Yamaha Scandinavia AB
J. A. Wettergrens Gata 1, Box 30053
S-400 43 Göteborg, Sweden
Tel: 031 89 34 00

DENMARK

YS Copenhagen Liaison Office
Generatorvej 6A, DK-2730 Herlev, Denmark
Tel: 44 92 49 00

FINLAND

F-Musiikki Oy
Kluuvikatu 6, P.O. Box 260,
SF-00101 Helsinki, Finland
Tel: 09 618511

NORWAY

Norsk filial av Yamaha Scandinavia AB
Grini Næringspark 1, N-1345 Østerås, Norway
Tel: 67 16 77 70

ICELAND

Skifan HF
Skeifan 17 P.O. Box 8120, IS-128 Reykjavik, Iceland
Tel: 525 5000

RUSSIA

Yamaha Music (Russia)
Room 37, bld. 7, Kievskaya street, Moscow,
121059, Russia
Tel: 495 626 5005

OTHER EUROPEAN COUNTRIES

Yamaha Music Europe GmbH
Siemensstraße 22-34, 25462 Rellingen, Germany
Tel: +49-4101-3030

AFRICA

Yamaha Corporation,
Asia-Pacific Sales & Marketing Group
Nakazawa-cho 10-1, Naka-ku, Hamamatsu,
Japan 430-8650
Tel: +81-53-460-2313

MIDDLE EAST

TURKEY/CYPRUS

Yamaha Music Europe GmbH
Siemensstraße 22-34, 25462 Rellingen, Germany
Tel: 04101-3030

OTHER COUNTRIES

Yamaha Music Gulf FZE
LOB 16-513, P.O.Box 17328, Jubel Ali,
Dubai, United Arab Emirates
Tel: +971-4-881-5868

ASIA

THE PEOPLE'S REPUBLIC OF CHINA

Yamaha Music & Electronics (China) Co., Ltd.
2F, Yunhedasha, 1818 Xinzha-lu, Jingan-qu,
Shanghai, China
Tel: 021-6247-2211

HONG KONG

Tom Lee Music Co., Ltd.
11/F, Silvercord Tower 1, 30 Canton Road,
Tsimshatsui, Kowloon, Hong Kong
Tel: 2737-7688

INDIA

Yamaha Music India Pvt. Ltd.
5F Ambience Corporate Tower Ambience Mall Complex
Ambience Island, NH-8, Gurgaon-122001, Haryana, India
Tel: 0124-466-5551

INDONESIA

PT. Yamaha Musik Indonesia (Distributor)
PT. Nusantik
Gedung Yamaha Music Center, Jalan Jend. Gatot
Subroto Kav. 4, Jakarta 12930, Indonesia
Tel: 021-520-2577

KOREA

Yamaha Music Korea Ltd.
8F, 9F, Dongsung Bldg. 158-9 Samsung-Dong,
Kangnam-Gu, Seoul, Korea
Tel: 02-3467-3300

MALAYSIA

Yamaha Music (Malaysia) Sdn., Bhd.
Lot 8, Jalan Perbandaran, 47301 Kelana Jaya,
Petaling Jaya, Selangor, Malaysia
Tel: 03-78030900

PHILIPPINES

Yupango Music Corporation
339 Gil J. Puyat Avenue, P.O. Box 885 MCPO,
Makati, Metro Manila, Philippines
Tel: 819-7551

SINGAPORE

Yamaha Music (Asia) Pte., Ltd.
#03-11 A-Z Building
140 Paya Lebar Road, Singapore 409015
Tel: 6747-4374

TAIWAN

Yamaha KHS Music Co., Ltd.
3F, #6, Sec.2, Nan Jing E. Rd. Taipei.
Taiwan 104, R.O.C.
Tel: 02-2511-8688

THAILAND

Siam Music Yamaha Co., Ltd.
4, 6, 15 and 16th floor, Siam Motors Building,
891/1 Rama 1 Road, Wangmai,
Pathumwan, Bangkok 10330, Thailand
Tel: 02-215-2622

OTHER ASIAN COUNTRIES

Yamaha Corporation,
Asia-Pacific Sales & Marketing Group
Nakazawa-cho 10-1, Naka-ku, Hamamatsu,
Japan 430-8650
Tel: +81-53-460-2313

OCEANIA

AUSTRALIA

Yamaha Music Australia Pty. Ltd.
Level 1, 99 Queensbridge Street, Southbank,
Victoria 3006, Australia
Tel: 3-9693-5111

NEW ZEALAND

Music Works LTD
P.O. BOX 6246 Wellesley, Auckland 4680,
New Zealand
Tel: 9-634-0099

COUNTRIES AND TRUST TERRITORIES IN PACIFIC OCEAN

Yamaha Corporation,
Asia-Pacific Sales & Marketing Group
Nakazawa-cho 10-1, Naka-ku, Hamamatsu,
Japan 430-8650
Tel: +81-53-460-2313

SY55



YAMAHA

HEAD OFFICE

Yamaha Corporation, Digital Musical Instruments Division
Nakazawa-cho 10-1, Naka-ku, Hamamatsu, Japan 430-8650
Tel: +81-53-460-2432

Yamaha Web Site (English only) <http://www.yamahasynt.com/>
Yamaha Manual Library <http://www.yamaha.co.jp/manual/>

C.S.G., Pro Audio Division
© 2008-2011 Yamaha Corporation

111POAP*.*-D0

ZA68300